



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月4日

東・福

上場会社名 株式会社三越伊勢丹ホールディングス 上場取引所
 コード番号 3099 URL <http://www.imhds.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 杉江 俊彦
 問合せ先責任者 (役職名) 業務本部総務部コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 滝口 一雄 (TEL) 03-6205-6003
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	296,663	0.7	6,838	12.8	8,130	10.8	4,860	△1.9
29年3月期第1四半期	294,646	△4.9	6,062	△47.7	7,339	△43.8	4,954	△43.5

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 8,901百万円(-%) 29年3月期第1四半期 △2,267百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	12.48	12.42
29年3月期第1四半期	12.65	12.60

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	1,277,204	586,518	45.0
29年3月期	1,309,777	579,782	43.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 575,284百万円 29年3月期 568,858百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,265,000	0.9	18,000	△24.8	20,000	△27.1	10,000	△33.2	25.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

30年3月期1Q	395,272,354株	29年3月期	395,232,054株
30年3月期1Q	5,688,342株	29年3月期	5,686,950株
30年3月期1Q	389,563,925株	29年3月期1Q	391,660,766株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)における我が国経済は、世界景気の漸次回復に伴い、企業収益や雇用環境において堅調に推移し、国内景気は回復基調にあります。小売業においては、株式市場の活況などにより、一部高額品の取り扱いが堅調なものの、中間層を中心に個人消費が伸びず、厳しい状況が続いております。インバウンド需要は、増加する海外旅行や為替相場の円安基調に伴い復調傾向にあります。

このような状況のなか、当社グループは長年培ってきたノウハウ・リソースを結集することで「常に上質であたらしいライフスタイルを創造し、お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つことを通じて、お客さま一人ひとりにとっての生涯にわたるマイデパートメントストアとなり、高収益で成長し続ける世界随一の小売サービス業グループ」となることを目指し、あたらしい価値の創出に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は296,663百万円(前年同四半期比0.7%増)、営業利益は6,838百万円(前年同四半期比12.8%増)、経常利益は8,130百万円(前年同四半期比10.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,860百万円(前年同四半期比1.9%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①百貨店業

百貨店業におきましては、当社の収益の柱として安定的収益をあげられるよう百貨店本業の再構築を進めてまいります。

基幹店につきましては、それぞれの店の方向性を改めて明確化し、現状のイベントやプロモーション経費の洗い出し等、徹底したコストコントロールとあわせ、収益の最大化に向けた取り組みを進めてまいりました。

支店、地域百貨店、海外店につきましては、限られた経営資源を新たな成長分野に再配分するため、収益性に課題のあった三越千葉店、三越多摩センター店の2店舗を、3月をもって営業終了いたしました。今後は、地域毎のお客様のニーズや各店に置かれた状況にあわせながら、あらゆる手段を使って地域のお客さまのニーズに応えられるよう構造改革に取り組みます。

また、三越伊勢丹グループならではのあたらしい価値のご提案と、商品の安定的確保や独自性の拡大、収益力の向上に向けた独自のモノづくりは継続していきますが、量的拡大の先行は取り止め、成功事例となっているブランド<ナナバートゥエンティワン><BPQC>等に絞り込み、SPAの取り組みの進化とアイテム単位で順調な取り組みの継続を行いながら、グループ内外へ展開してまいります。

中小型店舗につきましては、当社グループの強みである編集力とチャネル開発力を活かし、お客さまとの接点拡大に向けて出店を拡大してまいりました。ラグジュアリーコスメの編集ショップである「イセタンミラー」は、首都圏を中心に14店舗展開し、一定の収益モデルが確立され順調に推移しています。一方、編集型小型店である「エムアイプラザ」は全国に29店舗を展開するものの、事業収益モデルの確立に至っておらず、新規案件は原則凍結し、不採算店舗のスクラップ&ビルドを進めてまいります。

EC事業につきましては、基幹3店と連動した企画や展開商品の拡大によりお客さまの利便性向上に取り組んでまいりました。今後は、成長分野として新たな商品領域への拡大も含めて強化してまいります。

このセグメントにおける売上高は264,096百万円(前年同四半期比2.0%減)、営業利益は2,743百万円(前年同四半期比38.8%増)となりました。

②クレジット・金融・友の会業

クレジット・金融・友の会業におきましては、当社の持つシステムインフラや優良顧客を基盤に、ハウスカードから基幹事業としてさらなる拡大を目指しております。株式会社エムアイカードは、優良顧客基盤をもとに外部利用拡大に向けた各種利用促進キャンペーンの展開、積極的な外部加盟店開拓を行ってきた結果、外部利用が昨年より拡大いたしました。加えて、ロイヤリティが高く購買額の高いゴールド会員への切り替えキャンペーンを継続強化することで、ゴールド会員数は着実に伸長しています。また、外部との提携拡大、提携カード発行に向けて営業強化を図っております。

このセグメントにおける売上高は10,085百万円(前年同四半期比2.7%増)、営業利益は2,521百万円(前年同四半期比5.9%減)となりました。

③小売・専門店業

小売・専門店業におきましては、株式会社三越伊勢丹フードサービスが、首都圏を中心に食品専門スーパーマーケットや食を中心としたライフスタイルストアを展開しております。昨年度、インフラ投資やリモデルに関わる初期投資などにより減収減益となりましたが、当第1四半期につきましては、従来のチラシ中心の販売促進策から、店舗独自催事を中心としたコト企画へ重点政策を移すことで、宣伝費をはじめとした販売管理費のコントロールも進展し、収益改善に繋がりました。また、昨年リモデルから1周年を迎えた府中店や仙川店は、品揃え、価格帯のテコ入れを行った結果、回復基調となりました。

このセグメントにおける売上高は13,602百万円（前年同四半期比1.8%増）、営業損失は256百万円（前年同四半期は営業損失495百万円）となりました。

④不動産業

不動産業におきましては、株式会社三越伊勢丹不動産が、資本業務提携先である野村不動産株式会社との共同分譲事業の取り組みを行い増収増益となりました。今後は成長事業として継続的に貢献していくため、グループの保有する国内外の優良不動産を活用した、収益性のある事業機会の創出に向けた検討を進めております。

このセグメントにおける売上高は11,037百万円（前年同四半期比17.9%増）、営業利益は1,989百万円（前年同四半期比41.4%増）となりました。

⑤その他

その他の事業におきましては、「お客さまの生活の中のさまざまなシーンでお役に立つこと」の実現に向けて百貨店と親和性の高い新規事業の開発を進めております。

旅行事業におきましては、3月に子会社化したシニアマーケットに強みを有する株式会社ニッコウトラベルと、株式会社三越伊勢丹旅行との事業シナジーの最大化を図ってまいります。また、美容事業に関しては、1月に子会社化した株式会社ソシエ・ワールドと既存店舗網とのシナジーを創出してまいります。

さらに、メディア事業の株式会社スタジオアルタでは、有楽町マリオン跡地にグローバル観客に向けた「ノンバーバル」を特徴とする最先端エンターテインメント劇場の7月開業に向けた準備を進めてまいりました。

このセグメントにおける売上高は21,591百万円（前年同四半期比20.6%増）、営業損失は231百万円（前年同四半期は営業利益419百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は1,277,204百万円となり、前連結会計年度末に比べ32,572百万円減少しました。これは主に、現金及び預金、並びに受取手形及び売掛金が減少したことなどによるものです。

負債合計では690,686百万円となり、前連結会計年度末から39,308百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金、並びに有利子負債が減少したことなどによるものです。

また、純資産は586,518百万円となり、前連結会計年度末から6,735百万円増加しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことと、その他有価証券評価差額金が増加したことなどによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,722	33,970
受取手形及び売掛金	134,718	126,560
有価証券	953	869
商品及び製品	58,215	57,739
仕掛品	418	518
原材料及び貯蔵品	993	999
その他	58,033	58,368
貸倒引当金	△3,623	△3,614
流動資産合計	311,433	275,412
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	172,172	170,961
土地	526,996	538,801
その他(純額)	29,302	31,245
有形固定資産合計	728,471	741,008
無形固定資産		
ソフトウェア	24,761	23,950
のれん	14,345	13,983
その他	38,369	25,814
無形固定資産合計	77,477	63,748
投資その他の資産		
投資有価証券	116,061	121,579
その他	76,810	75,943
貸倒引当金	△528	△530
投資その他の資産合計	192,343	196,992
固定資産合計	998,292	1,001,749
繰延資産		
社債発行費	51	43
繰延資産合計	51	43
資産合計	1,309,777	1,277,204

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	115,712	102,638
1年内償還予定の社債	—	10,000
短期借入金	60,451	38,721
コマーシャル・ペーパー	37,000	50,000
未払法人税等	6,271	3,745
商品券回収損引当金	27,761	27,331
引当金	19,333	14,111
その他	176,869	166,919
流動負債合計	443,399	413,467
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	69,300	69,300
繰延税金負債	136,129	137,170
退職給付に係る負債	40,693	40,757
引当金	155	153
持分法適用に伴う負債	4,539	4,292
その他	15,778	15,544
固定負債合計	286,595	277,219
負債合計	729,994	690,686
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,328	50,350
資本剰余金	322,699	322,717
利益剰余金	195,184	197,476
自己株式	△9,286	△9,287
株主資本合計	558,925	561,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,989	8,844
繰延ヘッジ損益	0	53
為替換算調整勘定	5,697	6,823
退職給付に係る調整累計額	△1,754	△1,693
その他の包括利益累計額合計	9,933	14,027
新株予約権	1,946	1,902
非支配株主持分	8,977	9,331
純資産合計	579,782	586,518
負債純資産合計	1,309,777	1,277,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	294,646	296,663
売上原価	206,689	208,487
売上総利益	87,957	88,176
販売費及び一般管理費	81,895	81,338
営業利益	6,062	6,838
営業外収益		
受取利息	179	173
受取配当金	409	472
持分法による投資利益	1,044	649
その他	1,006	965
営業外収益合計	2,640	2,260
営業外費用		
支払利息	257	215
固定資産除却損	368	70
その他	736	681
営業外費用合計	1,363	967
経常利益	7,339	8,130
特別損失		
投資有価証券評価損	433	—
特別損失合計	433	—
税金等調整前四半期純利益	6,905	8,130
法人税等	2,084	3,200
四半期純利益	4,820	4,930
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△133	70
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,954	4,860

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	4,820	4,930
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,524	2,012
繰延ヘッジ損益	△34	54
為替換算調整勘定	△1,521	△741
退職給付に係る調整額	54	60
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,062	2,584
その他の包括利益合計	△7,087	3,971
四半期包括利益	△2,267	8,901
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,890	8,954
非支配株主に係る四半期包括利益	△376	△52

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	百貨店業	クレジット・金融・ 友の会業	小売・専 門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	269,314	5,811	10,362	5,552	291,040	3,606	294,646	—	294,646
セグメント間の内部 売上高又は振替高	277	4,013	3,001	3,806	11,098	14,302	25,400	△25,400	—
計	269,591	9,824	13,363	9,358	302,138	17,908	320,047	△25,400	294,646
セグメント利益又は損失 (△)	1,977	2,679	△495	1,407	5,568	419	5,987	74	6,062

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業、旅行業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額74百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	百貨店業	クレジット・金融・ 友の会業	小売・専 門店業	不動産業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	263,845	6,103	10,767	7,181	287,897	8,765	296,663	—	296,663
セグメント間の内部 売上高又は振替高	251	3,981	2,834	3,855	10,923	12,825	23,749	△23,749	—
計	264,096	10,085	13,602	11,037	298,821	21,591	320,412	△23,749	296,663
セグメント利益又は損失 (△)	2,743	2,521	△256	1,989	6,997	△231	6,766	71	6,838

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造・輸出入等・卸売業、物流業、人材サービス業、情報処理サービス業、旅行業、美容業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額71百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 連結業績の概要

(単位：百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成29年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成28年4月～6月)	前年差	前年比
連結売上高	296,663	294,646	2,016	100.7%
連結売上総利益	88,176	87,957	219	100.2%
連結販売費及び一般管理費	81,338	81,895	△556	99.3%
連結営業利益	6,838	6,062	776	112.8%
連結経常利益	8,130	7,339	791	110.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,860	4,954	△94	98.1%

(2) 三越伊勢丹個別の業績の概要

①業績の概要

(単位：百万円)

項目	当第1四半期累計期間 (平成29年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成28年4月～6月)	前年差	前年比
売上高	149,874	154,664	△4,789	96.9%
売上総利益	43,342	44,464	△1,122	97.5%
販売費及び一般管理費	41,169	43,570	△2,400	94.5%
営業利益	5,481	4,279	1,202	128.1%
経常利益	5,794	4,562	1,232	127.0%
四半期純利益	4,141	3,143	997	131.7%

②店別売上高

(単位：百万円)

店舗名	当第1四半期累計期間 (平成29年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成28年4月～6月)	前年差	前年比
伊勢丹新宿本店	62,206	61,309	897	101.5%
三越日本橋本店	37,352	39,680	△2,327	94.1%
三越銀座店	19,971	19,327	644	103.3%
伊勢丹立川店	8,373	8,523	△150	98.2%
伊勢丹松戸店	4,196	4,399	△202	95.4%
伊勢丹浦和店	9,458	9,721	△263	97.3%
伊勢丹相模原店	4,684	4,987	△303	93.9%
伊勢丹府中店	3,631	3,822	△191	95.0%
三越千葉店	—	2,891	△2,891	—
計	149,874	154,664	△4,789	96.9%

※伊勢丹新宿本店売上には、法人外商事業・EC事業の売上を含みます。

※三越日本橋本店売上には、小型店舗及び恵比寿三越、多摩センター三越（前年のみ）の売上を含みます。

(3) 国内グループ百貨店の売上高の状況

(単位：百万円)

会社名	当第1四半期累計期間 (平成29年4月～6月)	前第1四半期累計期間 (平成28年4月～6月)	前年差	前年比
札幌丸井三越	14,506	13,974	531	103.8%
函館丸井今井	1,759	1,836	△76	95.8%
仙台三越	7,692	7,652	40	100.5%
名古屋三越	15,254	15,971	△717	95.5%
静岡伊勢丹	4,625	4,530	94	102.1%
新潟三越伊勢丹	10,304	10,560	△255	97.6%
広島三越	3,412	3,556	△144	95.9%
高松三越	5,160	5,138	21	100.4%
松山三越	3,175	3,331	△156	95.3%
岩田屋三越	26,590	25,646	943	103.7%